仏説阿弥陀経の内容の簡単解説（原文と現代語訳付き）

仏説阿弥陀経とは、仏教のたくさんあるお経の中の1つです。

お経の内容は、祇園精舎という村が舞台です。たくさん人々が集まっている中で、この村の長老の舎利弗さんが、村の代表として、お釈迦様（仏教を開いた人）に「極楽浄土ってどのような所？」「どのようにしたら行くことができるの？」と質問を投げかけたとされており、その返答になります。
極楽浄土とは私たちの命が往き生まれる処です。
お釈迦様は極楽浄土の様子をわかりやすく丁寧に教えて下さり、どのようにしたらいいのかも示して下さいました。
極楽浄土の様子として金・銀・瑠璃・水晶の四つの宝が出てきたり、6種類の色とりどりの美しい鳥が登場したりします。ぜひ探してみてください。

また他にも「名号」という言葉が出てきます。名号は南無阿弥陀仏の事です。
南無阿弥陀仏とは「阿弥陀仏に帰依します」という意味で、「阿弥陀仏に私の命をお任せします」または「阿弥陀仏を心のよりどころにします」などの意味があります。

一番重要なポイントは、若一日・若二日・若三日・若四日・若五日・若六日・若七日という内容の『若』という言葉です。
若とは「もしは」という意味で、回数を限定しておりません。これは阿弥陀仏が「南無阿弥陀仏」と称える回数の多少を問題にしていません。何故かというと、阿弥陀仏様のお慈悲と願いによって私たちの命が極楽浄土に往き生まれることが決まっておられますので、称える回数は限定されていないのです。

以下は仏説阿弥陀経の原文と現代語訳を並べて記載しておりますので、ご参考にしていただければ幸いです。

【仏説阿弥陀経】（原文）

【1】如是我聞・一時仏在・舎衛国・祇樹給孤獨園
・与大比丘衆・千二百五十人倶・皆是大阿羅漢・
衆所知識・長老舎利弗・摩訶目犍連・摩訶迦葉・
摩訶迦旃延・摩訶倶絺羅・離婆多・周利槃陀伽・
難陀・阿難陀・羅睺羅・憍梵波提・賓頭盧頗羅堕
・迦留陀夷・摩訶劫賓那・薄拘羅・阿泥樓駄・
如是等・諸大弟子・並諸菩薩摩訶薩・
文殊師利法王子・阿逸多菩薩・乾陀訶提菩薩・
常精進菩薩・与如是等・諸大菩薩・
及釈提桓因等・無量諸天・大衆倶

【2】爾時仏告・長老舎利弗・従是西方・
過十万億仏土・有世界・名曰極楽・其土有仏・
号阿弥陀・今現在説法

【3】舎利弗・彼土何故・名為極楽・其国衆生・
無有衆苦・但受諸楽・故名極楽・
又舎利弗・極楽国土・七重欄楯・七重羅網・
七重行樹・皆是四宝・周帀囲繞・是故彼国・
名曰極楽

【4】又舎利弗・極楽国土・有七宝池・八功徳水・
充満其中・池底純以・金沙布地・四辺階道・
金銀瑠璃・玻璨合成・上有楼閣・亦以金銀瑠璃・
玻璨硨磲・赤珠碼碯・而厳飾之・池中蓮華・
大如車輪・青色青光・黄色黄光・
赤色赤光・白色白光・微妙香潔・ 舎利弗
・極楽国土・成就如是・功徳荘厳

【5】又舎利弗・彼仏国土・常作天楽・黄金為地・
昼夜六時・而雨曼陀羅華・其国衆生・常以清旦
・各以衣裓・盛衆妙華・供養他方・十万億仏・
即以食時・還到本国・飯食経行・

舎利弗・極楽国土・成就如是・功徳荘厳

【6】復次舎利弗・彼国常有・種種奇妙・
雑色之鳥・白鵠孔雀・鸚鵡舎利・迦陵頻伽・
共命之鳥・是諸衆鳥・昼夜六時・出和雅音・
其音演暢・五根五力・七菩提分・八聖道分・
如是等法・其土衆生・聞是音已・皆悉念仏・
念法念僧・

舎利弗・汝勿謂此鳥・実是罪報所生・所以者何
・彼仏国土・無三悪趣

【7】舎利弗・其仏国土・尚無三悪道之名・
何況有実・是諸衆鳥・皆是阿弥陀仏・
欲令法音宣流・変化所作・

舎利弗・彼仏国土・微風吹動・諸宝行樹・
及宝羅網・出微妙音・譬如百千種楽・
同時倶作・聞是音者・皆自然生・念仏念法・
念僧之心・
舎利弗・其仏国土・成就如是・功徳荘厳

【8】舎利弗・於汝意云何・彼仏何故・号阿弥陀・
舎利弗・彼仏光明無量・照十方国・無所障碍
・是故号為阿弥陀・
又舎利弗・彼仏寿命・及其人民・無量無辺・
阿僧祇劫・故名阿弥陀・舎利弗・阿弥陀仏・
成仏已来・於今十劫・
又舎利弗・彼仏有無量無辺・声聞弟子・皆阿羅漢
・非是算数・之所能知・諸菩薩衆・亦復如是・
舎利弗・彼仏国土・成就如是・功徳荘厳

【9】又舎利弗・極楽国土・衆生生者・
皆是阿鞞跋致・其中多有・一生補処・其数甚多・
非是算数・所能知之・但可以無量無辺・阿僧祇劫説
・
舎利弗・衆生聞者・応当発願・願生彼国・
所以者何・得与如是・諸上善人・倶会一処・
舎利弗・不可以少善根・福徳因縁・得生彼国

【10】舎利弗・若有善男子・善女人・聞説阿弥陀仏
・執持名号・若一日・若二日・若三日・
若四日・若五日・若六日・若七日・一心不乱・
其人臨命終時・阿弥陀仏・与諸聖衆・現在其前
・是人終時・心不顛倒・即得往生・阿弥陀仏・
極楽国土・
舎利弗・我見是利・故説此言・若有衆生・
聞是説者・応当発願・生彼国土。

【11】舎利弗・如我今者・讃歎阿弥陀仏・
不可思議功徳・東方亦有・阿閦鞞仏・須弥相仏・
大須弥仏・須弥光仏・妙音仏・如是等・
恒河沙数諸仏・各於其国・出広長舌相・
遍覆三千大千世界・説誠実言・汝等衆生・
当信是称讃・不可思議功徳・一切諸仏・
所護念経

【12】舎利弗・南方世界・有日月燈仏・
名聞光仏・大焔肩仏・須弥燈仏・
無量精進仏・如是等・恒河沙数諸仏・各於其国
・出広長舌相・遍覆三千大千世界・説誠実言
・汝等衆生・当信是称讃・不可思議功徳・
一切諸仏・所護念経

【13】舎利弗・西方世界・有無量寿仏・
無量相仏・無量幢仏・大光仏・大明仏・
宝相仏・浄光仏・如是等・恒河沙数諸仏・
各於其国・出広長舌相・遍覆三千大千世界・
説誠実言・汝等衆生・当信是称讃・
不可思議功徳・一切諸仏・所護念経

【14】舎利弗・北方世界・有焔肩仏・最勝音仏・
難沮仏・日生仏・網明仏・如是等・
恒河沙数諸仏・各於其国・出広長舌相・
遍覆三千大千世界・説誠実言・汝等衆生・
当信是称讃・不可思議功徳・一切諸仏・
所護念経

【15】舎利弗・下方世界・有師子仏・名聞仏・
名光仏・達摩仏・法幢仏・持法仏・如是等・
恒河沙数諸仏・各於其国・出広長舌相・
遍覆三千大千世界・説誠実言・汝等衆生・
当信是称讃・不可思議功徳・一切諸仏・
所護念経

【16】舎利弗・上方世界・有梵音仏・宿王仏・
香上仏・香光仏・大焔肩仏・雑色宝華厳身仏・
娑羅樹王仏・宝華徳仏・見一切義仏・如須弥山仏
・如是等・恒河沙数諸仏・各於其国・出広長舌相
・遍覆三千大千世界・説誠実言・汝等衆生・
当信是称讃・不可思議功徳・一切諸仏・
所護念経

【17】舎利弗・於汝意云何・何故名為・一切諸仏・
所護念経・
舎利弗・若有善男子・善女人・聞是諸仏所説名・
及経名者・是諸善男子・善女人・
皆為一切諸仏・共所護念・皆得不退転・於阿耨多羅
・三藐三菩提・
是故舎利弗・汝等皆当・信受我語・及諸仏所説・

舎利弗・若有人・已発願・今発願・当発願・
欲生阿弥陀仏国者・是諸人等・皆得不退転・
於阿耨多羅・三藐三菩提・於彼国土・若已生・
若今生・若当生・是故舎利弗・諸善男子・
善女人・若有信者・応当発願・生彼国土

【18】舎利弗・如我今者・称讃諸仏・不可思議功徳
・彼諸仏等・亦称説我・不可思議功徳・而作是言・
釈迦牟尼仏・能為甚難・希有之事・能於娑婆国土・
五濁悪世・劫濁・見濁・煩悩濁・衆生濁・
命濁中・得阿耨多羅・三藐三菩提・為諸衆生・
説是一切世間・難信之法・
舎利弗・当知我於・五濁悪世・行此難事・
得阿耨多羅・三藐三菩提・為一切世間・説此難信之法
・是為甚難

【19】仏説此経已・舎利弗・及諸比丘一切世間
・天人阿修羅等・聞仏所説・歓喜信受・
作礼而去

【仏説阿弥陀経】

【仏様が説かれた阿弥陀様のお話】（現代語訳）

【1】次のように、わたしは聞かせていただいた。あるとき、釈尊は舎衛国の祇園精舎においでになって、1250人のすぐれた弟子たちとご一緒であった。これらはみな世に知られた徳の高い阿羅漢であって
長老の舎利弗をはじめ摩訶目犍連・摩訶迦葉・摩訶迦旃延・摩訶倶絺羅・離婆多・周利槃陀伽・難陀・阿難陀・羅睺羅・憍梵波提・賓頭盧頗羅堕・迦留陀夷・摩訶劫賓那・薄拘羅・阿泥楼駄などの弟子たちであった。
またすぐれた菩薩たち、すなわち文殊菩薩・弥勒菩薩・乾陀訶提菩薩・常精進菩薩などの菩薩たちや、その他、帝釈天などの数限りないさまざまな神々ともご一緒であった。

【2】そのとき釈尊は長老の舎利弗に仰せになった。ここから西の方へ十万億もの仏がたの国々を過ぎたところに、極楽と名づけられる世界がある。そこには阿弥陀仏と申しあげる仏がおられて、今現に教えを説いておいでになる。

【3】舎利弗よ、その国をなぜ極楽と名づけるかというと、その国の人々は、何の苦しみもなく、ただいろいろな楽しみだけを受けているから、極楽というのである。
また舎利弗よ、その極楽世界には七重にかこむ玉垣と七重におおう宝の網飾りと七重につらなる並木がある。そしてそれらはみな金・銀・瑠璃・水晶の四つの宝でできていて、国中のいたるところにめぐりわたっている。それでその国を極楽と名づけるのである。

【4】また舎利弗よ、極楽世界には七つの宝でできた池があって、不可思議な力を持った水がなみなみとたたえられている。池の底には一面に金の砂が敷きつめられ、また四方には金・銀・瑠璃・水晶でできた階段がある。岸の上には楼閣があって、それもまた金・銀・瑠璃・水晶・硨磲・赤真珠・瑪瑙で美しく飾られている。また池の中には車輪のように大きな蓮の花があって、青い花は青い光を、黄色い花は黄色い光を、赤い花は赤い光を、白い花は白い光を放ち、いずれも美しく、その香りは気高く清らかである。舎利弗よ、極楽世界はこのようなうるわしいすがたをそなえているのである。

【5】また舎利弗よ、その阿弥陀仏の国には常にすぐれた音楽が奏でられている。そして大地は黄金でできていて、昼夜六時のそれぞれにきれいな曼陀羅の花が降りそそぐ。その国の人々はいつも、すがすがしい朝に、それぞれの器に美しい花を盛り、他の国々の数限りない仏がたに供養する。そして食事の時までには帰ってきて、食事をとってからしばらくの間はそのあたりを静かに歩き、身と心をととのえる。舎利弗よ、極楽世界はこのようなうるわしいすがたをそなえているのである。

【6】また次に舎利弗よ、その国にはいつも白鵠・孔雀・鸚鵡・舎利・迦陵頻伽・共命鳥などの色とりどりの美しい鳥がいる。このさまざまな鳥たちは、昼夜六時のそれぞれに優雅な声で鳴き、その鳴き声はそのまま五根・五力・七菩提分・八聖道分などの尊い教えを説き述べている。そこでその国の人々はみな、この鳴き声を聞いて仏を念じ、法を念じ、僧を念じるのである。
舎利弗よ、そなたはこれらの鳥が罪の報いとして鳥に生まれたのだと思ってはならない。なぜなら阿弥陀仏の国には地獄や餓鬼や畜生のものがいないからである。

【7】舎利弗よ、その国には地獄や餓鬼や畜生の名さえもないのだから、ましてそのようなものがいるはずがない。このさまざまな鳥はみな、阿弥陀仏が法を説きひろめるために、いろいろと形を変えて現されたものにほかならないのである。
舎利弗よ、またその仏の国では宝の並木や宝の網飾りがそよ風に揺れ、美しい音楽が流れている。それは百千種もの楽器が同時に奏でられているようであり、その音色を聞くものは、だれでもおのずから仏を念じ、法を念じ、僧を念じる心を起すのである。
舎利弗よ、阿弥陀仏の国はこのようなうるわしいすがたをそなえているのである

【8】舎利弗よ、そなたはどう思うか。なぜその仏を阿弥陀仏と申しあげるのだろうか。　舎利弗よ、その仏の光明には限りがなく、すべての国々を照らして何ものにもさまたげられることがない。それで阿弥陀仏と申しあげるのである。
また舎利弗よ、その仏の寿命とその国の人々の寿命もともに限りがなく、まことに量り知れないほど長い。それで阿弥陀仏と申しあげるのである。
舎利弗よ、この阿弥陀仏が仏になられてから、今日まですでに十劫という長い時が過ぎている。
また舎利弗よ、その仏のもとには数限りない声聞の弟子たちがいて、みな阿羅漢のさとりを得ている。その数の多いことは、とても数え尽すことができない。また菩薩たちの数もそれと同じく、数え尽すことができない。
舎利弗よ、阿弥陀仏の国はこのようなうるわしいすがたをそなえているのである。

【9】また舎利弗よ、極楽世界に生れる人々はみな不退転の位に至る。その中には一生補処という最上の位の菩薩たちもたくさんいる。その数は実に多く、とても数え尽すことができない。それを説くには限りない時をかけなければならない。
舎利弗よ、このようなありさまを聞いたなら、ぜひともその国に生れたいと願うがよい。そのわけは、これらのすぐれた聖者たちと、ともに同じところに集うことができるからである。
しかしながら舎利弗よ、わずかな功徳を積むだけでは、とてもその国に生れることはできない。

【10】舎利弗よ、もし善良なものが、阿弥陀仏の名号を聞き、その名号を心にとどめ、あるいは一日、あるいは二日、あるいは三日、あるいは四日、あるいは五日、あるいは六日、あるいは七日の間、一心に乱れることなく、その人が命を終えようとするときに、阿弥陀仏が多くの聖者たちとともにその前に現れてくださるのである。そこでその人がいよいよ命を終えるとき、心が乱れ惑うことなく、ただちに阿弥陀仏の極楽世界に生れることができる。　舎利弗よ、わたしはこのような利益があることをよく知っているから、このことを説くのである。もし人々がこの教えを聞いたなら、ぜひともその国に生れたいと願うがよい。

【11】舎利弗よ、わたしが今、阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえているように、東方の世界にも、また阿閦鞞仏・須弥相仏・大須弥仏・須弥光仏・妙音仏など、ガンジス河の砂の数ほどのさまざまな仏がたがおられ、それぞれの国でひろく舌相を示して、世界のすみずみにまで阿弥陀仏のすぐれた徳が真実であることをあらわし、まごころをこめて、『そなたたち世の人々よ、この《阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえて、すべての仏がたがお護りくださる経》を信じるがよい』と仰せになっている。

【12】舎利弗よ、また南方の世界にも、日月燈仏・名聞光仏・大焔肩仏・須弥燈仏・無量精進仏など、ガンジス河の砂の数ほどのさまざまな仏がたがおられ、それぞれの国でひろく舌相を示して、世界のすみずみにまで阿弥陀仏のすぐれた徳が真実であることをあらわし、まごころをこめて、『そなたたち世の人々よ、この《阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえて、すべての仏がたがお護りくださる経》を信じるがよい』と仰せになっている。

【13】舎利弗よ、また西方の世界にも、無量寿仏・無量相仏・無量幢仏・大光仏・大明仏・宝相仏・浄光仏など、ガンジス河の砂の数ほどのさまざまな仏がたがおられ、それぞれの国でひろく舌相を示して、世界のすみずみにまで阿弥陀仏のすぐれた徳が真実であることをあらわし、まごころをこめて、『そなたたち世の人々よ、この《阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえて、すべての仏がたがお護りくださる経》を信じるがよい』と仰せになっている。

【14】舎利弗よ、また北方の世界にも、焔肩仏・最勝音仏・難沮仏・日生仏・網明仏など、ガンジス河の砂の数ほどのさまざまな仏がたがおられ、それぞれの国でひろく舌相を示して、世界のすみずみにまで阿弥陀仏のすぐれた徳が真実であることをあらわし、まごころをこめて、『そなたたち世の人々よ、この《阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえて、すべての仏がたがお護りくださる経》を信じるがよい』と仰せになっている。

【15】舎利弗よ、また下方の世界にも、師子仏・名聞仏・名光仏・達摩仏・法幢仏・持法仏など、ガンジス河の砂の数ほどのさまざまな仏がたがおられ、それぞれの国でひろく舌相を示して、世界のすみずみにまで阿弥陀仏のすぐれた徳が真実であることをあらわし、まごころをこめて、『そなたたち世の人々よ、この《阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえて、すべての仏がたがお護りくださる経》を信じるがよい』と仰せになっている。

【16】舎利弗よ、また上方の世界にも、梵音仏・宿王仏・香上仏・香光仏・大焔肩仏・雑色宝華厳身仏・娑羅樹王仏・宝華徳仏・見一切義仏・如須弥山仏など、ガンジス河の砂の数ほどのさまざまな仏がたがおられ、それぞれの国でひろく舌相を示して、世界のすみずみにまで阿弥陀仏のすぐれた徳が真実であることをあらわし、まごころをこめて、『そなたたち世の人々よ、この《阿弥陀仏の不可思議な功徳をほめたたえて、すべての仏がたがお護りくださる経》を信じるがよい』と仰せになっている。

【17】舎利弗よ、そなたはどう思うか。なぜこれを<すべての仏がたがお護りくださる経>　と名づけるのだろうか。
舎利弗よ、もし善良なものたちが、このように仏がたがお説きになる阿弥陀仏の名とこの経の名を聞くなら、これらのものはみな、すべての仏がたに護られて、この上ないさとりに向かって退くことのない位に至ることができる。
だから舎利弗よ、そなたたちはみな、わたしの説くこの教えと、仏がたのお説きになることを深く信じて心にとどめるがよい。

舎利弗よ、もし人々が阿弥陀仏の国に生れたいとすでに願い、または今願い、あるいはこれから願うなら、みなこの上ないさとりに向かって退くことのない位に至り、その国にすでに生れているか、または今生れるか、あるいはこれから生れるのである。だから舎利弗よ、仏の教えを信じる善良なものたちは、ぜひともその国に生れたいと願うべきである。

【18】舎利弗よ、わたしが今、仏がたの不可思議な功徳をほめたたえているように、その仏がたもまた、わたしの不可思議な功徳をほめたたえてこのように仰せになっている。
釈迦牟尼仏は、世にもまれな難しく尊い行いを成しとげられた。娑婆世界はさまざまな濁りに満ちていて、汚れきった時代の中で、思想は乱れ、煩悩は激しくさかんであり、人々は悪事を犯すばかりで、その寿命はしだいに短くなる。そのような中にありながら、この上ないさとりを開いて、人々のためにすべての世に超えすぐれた信じがたいほどの尊い教えをお説きになったことである
舎利弗よ、よく知るがよい。わたしは濁りと悪に満ちた世界で難しい行を成しとげ、この上ないさとりを開いて仏となり、すべての世界のもののためにこの信じがたいほど尊い教えを説いたのである。このことこそ、まことに難しいことなのである」

【19】このように仰せになって、釈尊がこの教えを説きおわられると、舎利弗をはじめ、多くの修行僧たちも、すべての世界の天人や人々も、阿修羅なども、みな、この尊い教えを承って喜びに満ちあふれ、深く信じて心にとどめ、うやうやしく礼拝して立ち去ったのである。

【仏様が説かれた阿弥陀様のお話】

仏説阿弥陀経は　姚秦三蔵法師鳩摩羅什奉詔によって訳されました。
上記、現代語訳中には、様々な仏教専門用語が含まれております。これらの詳細に関しては
参考文献として出典：本願寺出版社発行　浄土三部経(現代語版)をお勧めしております。

仏説阿弥陀経は、お経の中の１つでありますが、極楽浄土と阿弥陀仏に関してのお経があと２つあります。
２つ目は「仏説観無量寿経」で、３つ目は「仏説無量寿経」です。
これらの内容、現代語訳につきましても、本願寺出版社発行　浄土三部経(現代語版)に記載がございますので、お勧めしております。

出典：本願寺出版社発行　浄土三部経(現代語版)
著作権：浄土真宗本願寺派　聖典編纂委員会
注意：出典、著作権表示の削除、改変、営利使用禁止